

(工学研究科)  
公益財団法人松下幸之助記念財団外国人奨学生の募集

2015年6月15日

1 応募資格…以下のすべてに該当すること

1) アジア／アフリカ／ラテンアメリカ諸国からの留学生

アジアとは、西は西アジア(注1)中央アジア(注2)北はモンゴル、南はインドネシアまで。

アフリカとは、アフリカ大陸と周辺の島嶼部。

ラテンアメリカとは、メキシコ以南(カリブ海地域を含む)

(注1)アラビア半島6カ国、アフガニスタン、イラン、イラク、イエメン、レバノン、シリア、ヨルダン、イスラエル、トルコ、キプロス

(注2)カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタン

2) 秋季に日本の大学院修士課程に就学を開始する者(既に日本国内で学部生・研究生で滞在している学生を含みます。)

3) 松下幸之助記念財団が1年に数回実施する公式行事に参加をする者

2 奨学金の概要

生活費:月額12万円、入学金支援:30万円を上限、授業料支援:60万円/年を上限

渡航費:新規に来日する場合往復運賃程度(別途財団規定による)

3 支給期間

2015年10月から2017年修了月末まで(最大2年間)

4 提出書類

1) APPLICATION FORM (A4 1枚) (PC入力可)

2) RESEARCH PLAN 研究計画書 (A4 1枚)

3) ESSAY テーマ:将来、社会にどんな貢献をしたいか (A4 1枚)

4) 学部成績証明書(写) (現在学部生の者は現時点の成績証明書)

5) 入学許可書または合格通知書(提出できる場合)

6) KMMF スカラシップ経済状況調書(2015/10/1 現在)

5 募集人数 制限無(但し1カ国につき1名)

6 申請書類の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係

7 締切日 2015年8月21日(金)

# Application Guideline for The Konosuke Matsushita Memorial Foundation Scholarship 2015

The Konosuke Matsushita Memorial Foundation will support international students who conduct research related to our objectives “to contribute to international society by promoting mutual understanding between Japan and other countries” and “to create society where mankind coexists with nature”.

## ●Eligibility

1. Students with excellent academic performance who conduct research related to either or both of our objectives below:

- ①Mutual understanding between Japan and other countries
- ②Coexistence of mankind and nature

2. Qualifications

- Those from Asian, African, and Latin American countries
  - "Asia" includes West Asia (#1), Central Asia (#2) North end is Mongolia, and south end is Indonesia.
  - "Africa" includes African continent and surrounding islands.
  - "Latin America" includes southern from Mexico (including the Caribbean area).
  - (#1) Six countries of Arabian Peninsula, Afghanistan, Iran, Iraq, Yemen, Lebanon, Syria, Jordan, Israel, Turkey, and Cyprus
  - (#2) Kazakhstan, Kyrgyzstan, Tajikistan, Uzbekistan, and Turkmenistan
- Those who begin Master's program in Japanese universities in fall
  - Including students who has already started studying in Japan as a bachelor or a research student.
- Those who can participate in our events held a few times a year

## ●Scholarship outlines

1. Number of scholar to be accepted

One from each university

2. Scholarship benefits

Living expense: 120,000 yen per month

Admission fee: up to 300,000 yen

Tuition: up to 600,000 yen per year

Travel expense: Economy class round trip airfare between Japan and your country\*

(\*Travel expense will be paid only to those who will newly arrive in Japan.)

Payment Method

Scholarship: to be paid directly to students once every 3 months

Date of payment: September 15th, December 15th, March 15th, and June 15th\*

(\*The first payment date can be scheduled later than Sept. 15th according to the time you are selected as a scholar and your arrival date for those who will newly arrive in Japan )

Admission fee & Tuition: Each university can select from following 3 ways.

- 1) Students first have to pay and get reimbursed from KMMF later by submitting payment receipt to KMMF.
- 2) University request KMMF to pay with an account.
- 3) Students forward the bill to KMMF and KMMF pays on behalf of them.

### 3. Scholarship term

from October 2015 until completion of Master's program in 2017

(Maximum 2 years)

### 4. Obligations for scholars

- Concluding pledge with us (right after you are selected as a scholar.)
- Submitting report quarterly
- Attending one night training seminar to learn philosophy of the Matsushita Foundation (scheduled to be held in Nov.-Dec.)  
(travel / accommodation fees will be covered.)
- Attending the events to facilitate interaction with other Matsushita scholars  
(travel / accommodation fees will be covered.)
- Contributing an article to anthology in the last year

## ● Selection

### 1. Selection method

University recommends candidates. (University recommends 3 candidates considering diversity of candidates' background.)

Application deadline: Early Aug, 2015 (Feasible to change over consultation according to the schedule of entrance exam and result announcement.)

Candidates are screened by required documents submitted. (Interview is to be given if necessary)

Required documents to be submitted:

- ① Application form
- ② Transcript
- ③ Research plan
- ④ Essay (one A4 page): Title: "What kind of contribution you'd like to make to the society in a future?"

### 2. Result announcement

2 weeks after recommendation from university



## 松下幸之助記念財団 新奨学金募集要項 (2015年度版)

公益財団法人 松下幸之助記念財団の目的は「諸外国との相互理解による国際社会への貢献」と「人間が自然を尊び調和しながら生きる社会の実現」です。この目的に沿ったテーマについて研究をする留学生を支援します。

### ●対象

#### 1. 上記弊財団の目的に合致する、

- ①日本と諸外国との相互理解
- ②自然と人間との共生

のどちらかもしくは両方に関する研究を目的に来日する外国人留学生のうち特に学業に優れた学生

#### 2. 応募資格・条件

- ・アジア／アフリカ／ラテンアメリカ諸国からの留学生  
アジアとは西は西アジア（注1） 中央アジア（注2） 北はモンゴル、南はインドネシアまで。  
アフリカはアフリカ大陸と周辺の島嶼部。  
ラテンアメリカはメキシコ以南（カリブ海地域を含む）  
（注1）アラビア半島6カ国、アフガニスタン、イラン、イラク、イエメン、レバノン、シリア、ヨルダン、イスラエル、トルコ、キプロス  
（注2）カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタン
- ・秋季に日本の大学院修士課程に就学を開始する者  
（既に日本国内で学部生・研究生で滞在している学生を含みます）
- ・弊財団が1年に数回実施する公式行事に参加をする者

### ●奨学金の概要

#### 1. 募集人員

毎年度 各大学から 1名

#### 2. 奨学金金額

12万円／月 生活費

30万円を上限に入学金支援（実費）

60万円／年を上限に授業料等支援（実費）

渡航費（本奨学金の開始に向けて新規に来日する場合に限りエコノミーでの往復運賃程度を支給 別途財団規定による）

## 支払い方法

奨学金 3ヶ月に一度 学生個人へ直接振り込み

支払い時期 9月15日、12月15日、3月15日、6月15日

(来日時期・奨学金決定時期に応じて初回のみ個別対応も配慮)

入学金・授業料 ①学生の支払い証明(大学の受領証)を確認の上で学生個人に直接振り込み

②大学から財団に請求書を発行

③学生が大学からの振込み票を財団に転送し財団が支払い等、各大学の都合によって個別対応

## 3. 奨学金期間

2015年10月～2017年修了月末まで(最大2年間)

## 4. 奨学生の主たる義務

- ・弊財団と誓約書を締結(認定後速やかに)
- ・4回/年の状況報告の提出
- ・1泊2日の理念研修(11～12月を予定)への出席(交通費・宿泊費は財団負担)
- ・他奨学生との交流イベントへの出席(交通費・宿泊費は財団負担)
- ・修了年度に終了文集への寄稿

## ●選考方法

### 1. 選考方法

該当する学生を対象大学から推薦(3名を多様性に配慮して推薦下さい)

時期:2015年8月上旬までを目安にご推薦下さい(大学の都合を優先)

弊財団にて書類(場合によっては面談)審査の上認定

提出いただく物:推薦者リスト

リストに記載する項目

氏名、性別、国籍、年齢、学歴、職歴、GPA、

語学力IELTS、TOEIC、TOEFL、JLPT等

(学歴・職歴は顔写真を含めてください)

各自の①成績証明書

②研究計画書

③エッセイ

テーマ:将来、社会にどんな貢献をしたいか

文章量:A4 1枚を目安(日本語か英語)

### 2. 認定通知

大学の推薦から2週間以内に回答します。

## 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。(2015年4月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: \_\_\_\_\_

所 属: \_\_\_\_\_ 学科・系 \_\_\_\_\_ 年次・研究生  
\_\_\_\_\_ 専攻・前期 \_\_\_\_\_ 年次・研究生  
\_\_\_\_\_ 後期 \_\_\_\_\_ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

\* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

\_\_\_\_\_

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 \_\_\_\_\_  
官職 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ 印

\* 2015年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 私費外国人留学生身上調書

2015.4月現在

### 1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名	指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字 )	既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)	国籍	
東北大学 入学前 の在籍大学		年 月 卒業・修了	
東北大学で の移動 (新しい順 番に)		年 月 ~ 現在	
		年 月 ~ 年 月	
		年 月 ~ 年 月	
住居 (○で囲む)	東北大学国際交流会館 三条ユニバーシティハウス 仙台第一国際交流会館 仙台第二国際交流会館 県・市営アパート(住所 ) 民間アパート(住所 )		

### 2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名

\* 2015年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 家計状況申告書

在籍	学部 年	学籍番号	
	MC 年、DC 年、大学院研究生		
氏名			

### 家計状況

\* 2014年4月から2015年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

\* 2015年4月入学の方は、2014年10月から2015年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

\* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収入		支出	
自国の家族等からの送金	円	食費	円
奨学金(本人)	円	家賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ( )		円
その他	( )		円
( )	円 ( )		円
( )	円 ( )		円
合計	円	合計	円

### 奨学金受給状況

\* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し (○で囲む)

\* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	

### 授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

\* 該当箇所を○で囲む

平成27年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成26年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成25年度	後期	全額免除	半額免除	<del>1/3免除</del>	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	<del>1/3免除</del>	申請したが不許可だった